

行政改革大綱実施計画書

大綱主要項目		事務事業の効率化				
具体的な項目		第3セクターの経営の健全化・合理化				
実施計画項目		真岡鐵道(株)				
担当課		総合政策課	関係課			
No. III-4-(2)		令和3	4	5	6	7
実施年度	実施計画	○	○	○	○	○
	効果又は 数値目標	新たな経営計画策定に参画。計画に基づく経営安定化策を支援	経営計画に基づく経営安定化策を支援	経営計画に基づく経営安定化策を支援	新たな経営計画策定に参画。計画に基づく経営安定化策を支援	経営計画に基づく経営安定化策を支援
進捗状況	実績	A	A	A	A	
	効果又は 数値実績	新たな経営計画策定に参画し、計画に基づく経営安定化策を支援した	経営計画に基づく経営安定化策を支援した	経営計画に基づく経営安定化策を支援した	新たな経営計画策定に参画し、計画に基づく経営安定化策を支援した	
現状と課題						
<p>真岡鐵道は、通勤・通学者や、高齢者・子どもなど交通弱者の日常生活を支える重要な交通手段であることから、「地域の足」の確保のために、継続的な支援が必要である。真岡鐵道株式会社に対しては、関係自治体で施設整備に係る地域公共交通確保維持改善事業費補助金や、経営収支の不足分を補う経営安定化補助金等にて経営支援を行っている。</p> <p>経営については、輸送人員が平成6年度(1,712,797人)をピークに減少傾向にあり、(令和6年度821,739人)特に全体の約7割を占める定期通学者は少子化の影響による減少は避けられず、新たな輸送人員の増加策が求められるほか、経費節減等の経営改善が必要である。また、鐵道インフラの老朽化等、新たな経営課題が生じている。</p>						
課題解決に向けた方策						
<p>関係自治体と連携しながら、令和6年度に策定した第五期真岡鐵道経営計画(計画期間R7～R9)の推進を支援し、経営計画に定めた輸送人員や収入が目標に達しない場合は、計画の見直しを求めていく。【令和7年度修正】</p>						
具体的な取組内容						
<p>・令和6年度は、関係自治体とともに以下の経営支援を行った。 【令和6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真岡鐵道経営計画の各施策を推進し、関係自治体とともに真岡鐵道経営安定化補助金の交付等の経営支援を行った。(真岡市支援額：38,989,882円) ・燃料価格の高騰で、例年より支出の増加が見込まれる真岡鐵道を支援し、今後も市民の移動を支える重要な交通手段として確保、維持していくため、真岡鐵道通学定期の購入費を助成した。 <p>R5のべ定期通学客数 578,858人 ⇒ R6のべ定期通学客数 547,459人 (交付実績：337人9,328,000円 重点支援地方創生交付金活用)</p>						
実績考察(理由、改善すべき点等)						
<p>【令和6年度】</p> <p>令和6年度は経常損益が134,910千円の赤字であるが、経営計画で定めた関係自治体支援額159,927千円以内で対応できている。</p> <p>しかし、真岡鐵道の経常損失額は、R2年度123,918千円、R3年度139,093千円、R4年度115,448千円、R5年度138,813円、R6年度134,910千円と増加傾向にあるため、長期的な経営見通しにもとづき、健全化に必要な施策の検討が必要である。</p>						
考察を踏まえての今後の取組方針						
<p>【令和7年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真岡鐵道経営計画に基づく各施策を推進するとともに、真岡鐵道経営支援協議会での検証結果を踏まえ、効果的な施策実施の支援を行う。 ・長期的な経営見通しに基づいた対策を実施するため、経営・収支の改善に向けた取組や、老朽化している設備の計画的な修繕・長寿命化等、持続可能な公共交通手段としての真岡鐵道を沿線自治体とともに検討していく。 						